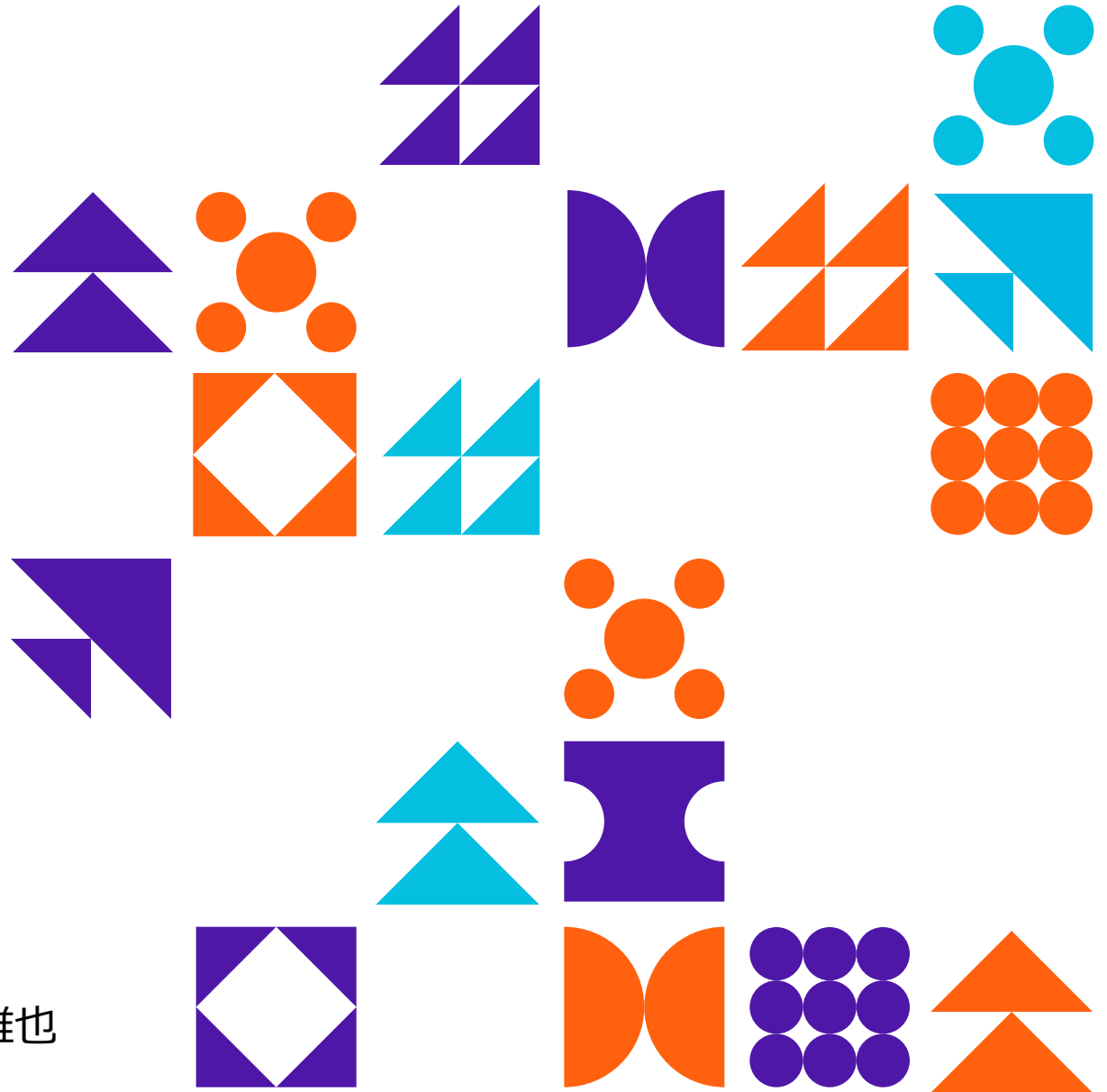


AI@Work 2024 Kick off WG3 AIK4PM Retrospective & 2024 Plan

2024年1月24日

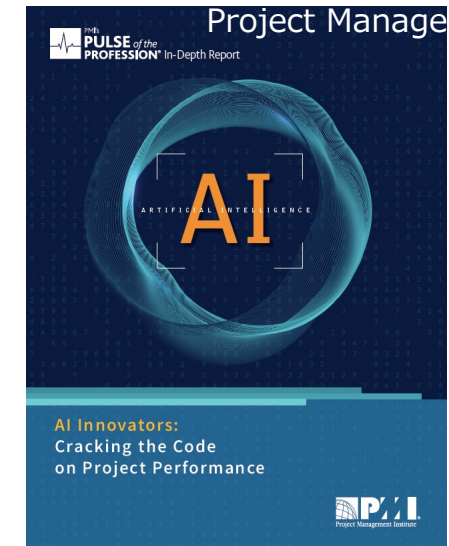
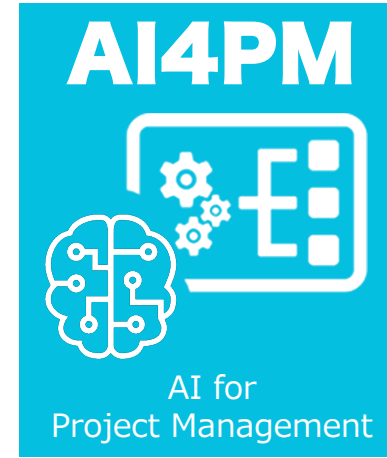
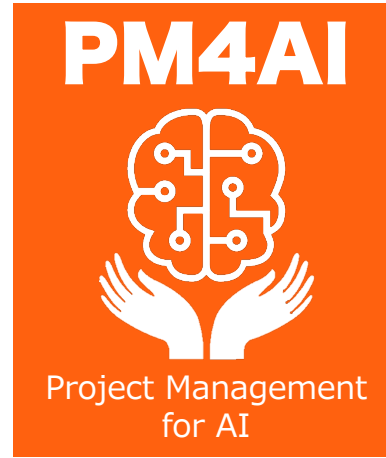
AI@Work Study Group WG3
内藤 睦博、足立 昌浩、曾我 みどり、有馬 裕輔、掛札雄也

AI@Work Study Group, PMI Japan

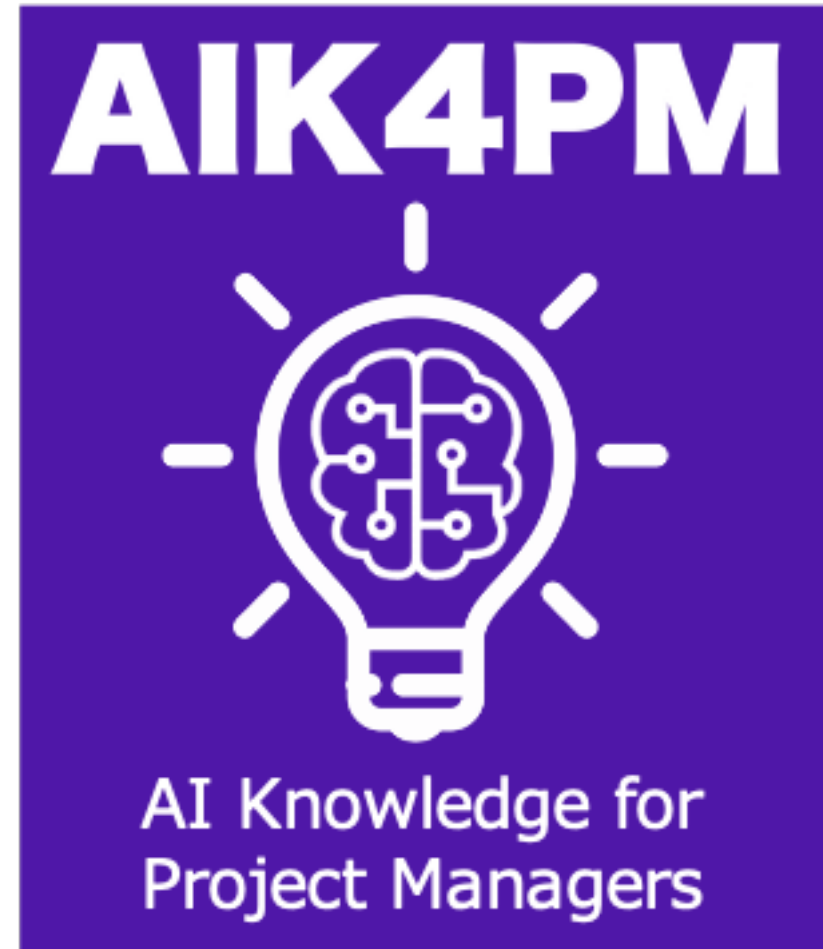


Agenda

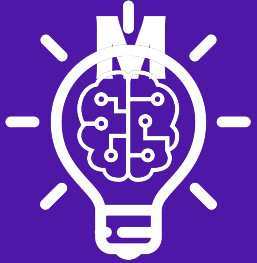
1. WG3概要
2. 2023年活動内容の振り返り
3. 2024年活動計画



WG3概要



AIK4P



プロジェクト・マネジャーとして取得すべきレベルのAI技術またはAIの考え方などを研究する



プロジェクトマネジャーとして取得しておくべきAIのスキルを保有している。



- 自分の組織でAIを導入することができるか？（保有課題を解決、低リスクで導入）
- スコープを明確にする
 - ✗ AIエンジニア・研究者向けのAI知識
 - ✗ 一般知識としてのAI



AI-Readyな

個人

トップ人材、中核人材、利用者それぞれをAI-Ready化教育や研究開発環境の改革、利用者の意識変革を推進

守

破

離

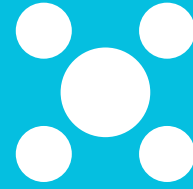
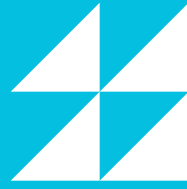
WG3

WG1

WG2

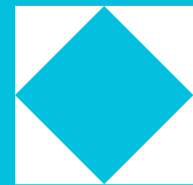
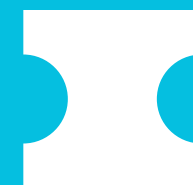
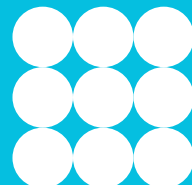
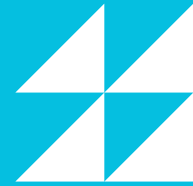
WG3の活動を通じて目指せるレベル

| レベル | 概要 | 目指せるレベル |
|-----|--|--------------|
| 1 | AIに関するプロジェクトについては本で知識を身に着けた程度 | 当然OK! |
| 2 | AIに関するプロジェクトの企画、計画、マネジメントについて議論が出来る | OK! |
| 3 | AIを利用したプロジェクトのサブPM、PMO、プロジェクトサポートなどが出来そう | 若干 |
| 4 | AIを利用したプロジェクトのマネジメントのイメージがつく、PoCがリード出来そう | 次のステージ |
| 5 | AIを利用したプロジェクトのPMが出来る/PMを引き受ける気持ちになれる | 次のステージ |



2023年活動内容の振り返り

- DeepLearning G検定 勉強会
- AI実践
- 輪講
- Python勉強会
- 最新AIの動向調査



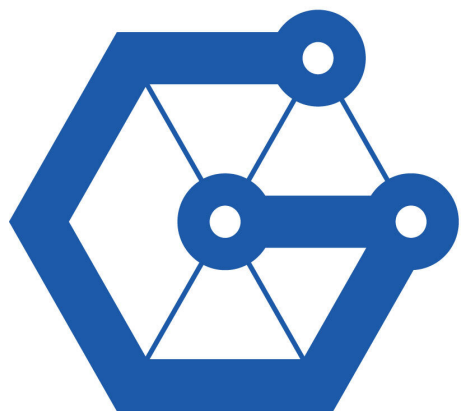
- AIに関する基礎知識を得ることが目的
- 課題図書を選定し、メンバーで輪講を実施
- パートごとに担当を決め、月次ミーティングで発表



ディープラーニングAIはどのように学習し、推論しているのか

概要：機械学からディープラーニングについて分かり易く解説されており、Pythonの実習で画像認識、自然言語処理について体験可能

- DeepLearning G検定の合格を目指す（7月、11月の試験対象）
- 希望者でチームを作り、月次ミーティング、必要に応じて個別ミーティングを実施
- 過去合格者が受験に関するノウハウなどを共有
- 2023年は2名の方が合格（2019年からの累計で16名が合格）



JDLA
Deep Learning for
GENERAL
2022 #1

- 日本ディープラーニング協会主催
- G検定（General）、E資格（Engineer）が存在
- AI For Everyone修了者は受験料の割引あり
- 合格者のみ参加できるコミュニティで情報交換、勉強会参加も可能

- 教材を通しAIのプログラミングで使用するPythonの記述と機械学習アルゴリズムを学ぶ
- 目的はPMとして「AIにおけるPython」をどこまで知るべきか探りを入れること
- 進め方は希望者でチームを作り月2回ミーティング実施（オンライン）

Python 実践 機械学習システム 100本ノック

下山輝昌・三木孝行・伊藤淳二 著

これが現場で生きるデータ活用だ!

データ活用プロジェクト成功のカギは、
「仕組化を意識した、柔軟性のある小規模システム」!

データの加工から可視化・機械学習モデルの構築と評価、レポートの作成、
最終的には、継続的なデータ更新を想定した「機械学習システム」を構築!

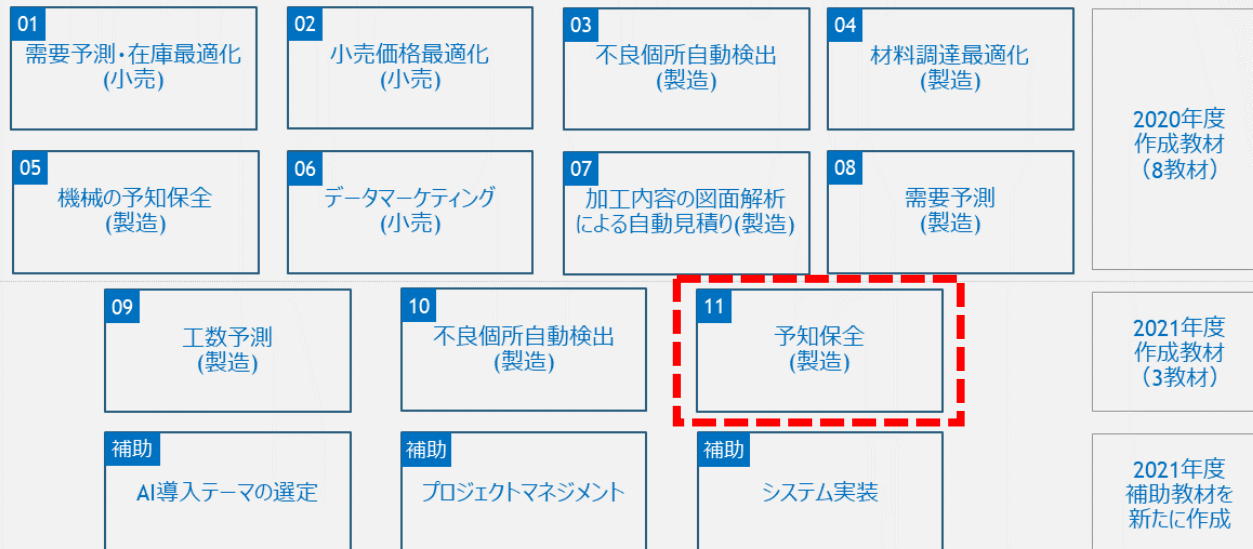
酒和システム

- 教材：
Python実践機械学習システム100本ノック
- 学習スケジュール：
9月 1～2章
10月 3章（ノック21～30）
11月 4章（ノック31～40）
12月 5章（ノック41～50）

- AIに関する知識、理解をさらに深めることを目的に実施
- 経済産業省で2020年度、2021年度に実施していた課題解決型AI人材育成プログラム「AI Quest」の教材を用いて実施
- 要件定義、モデル作成、運用検討など一連の流れをグループワークで体験

2020年度：中小企業の課題解決に資する小売業・製造業の2業界で8教材を作成
 2021年度：新たに3教材を作成。さらに各教材共通に必要なスキルを学べる補助教材を作成

教材テーマ



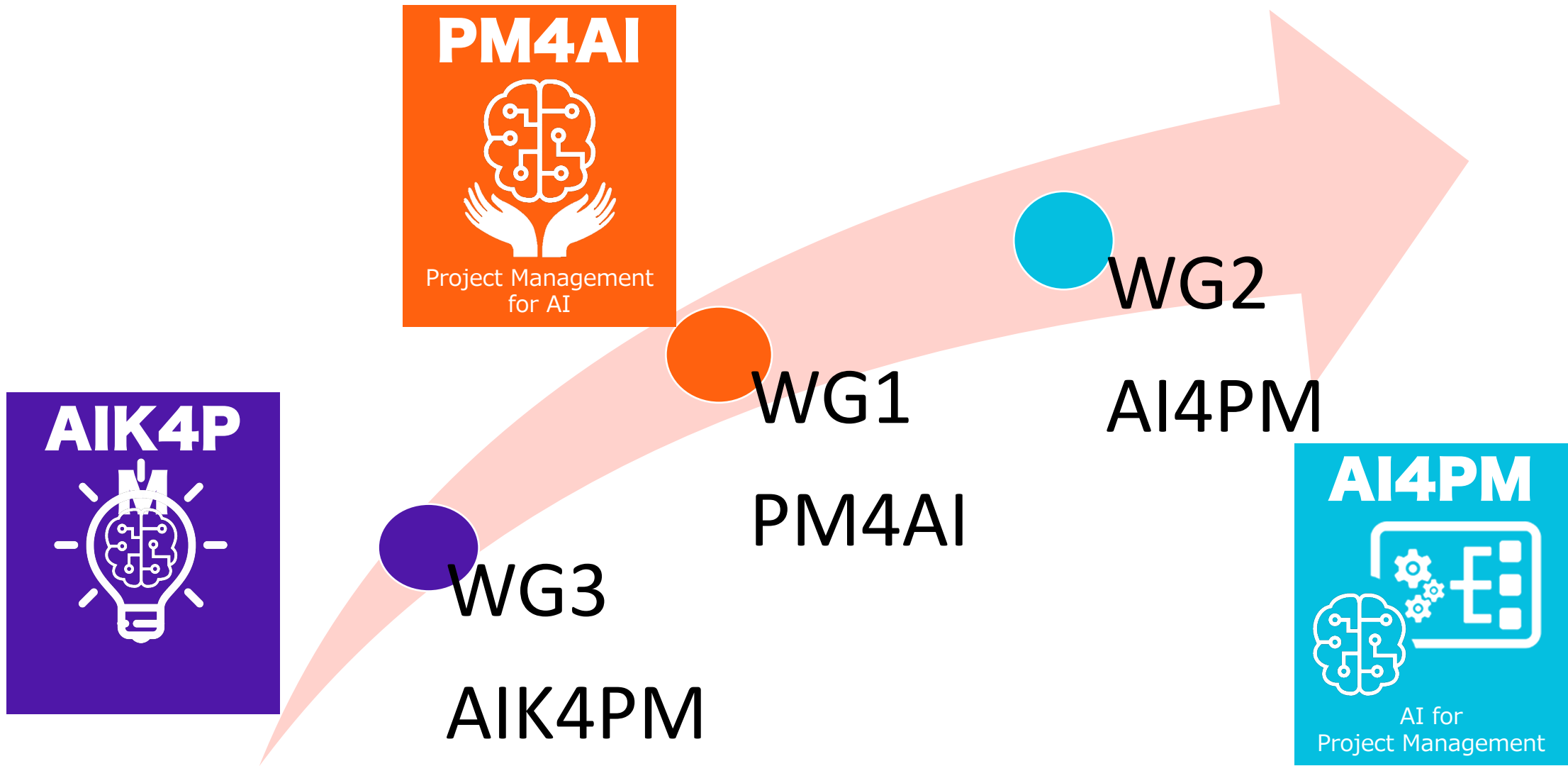
11 : 2023年に学習したテーマ

- 最新のAIツールの使用方法とその仕組みについて学習
- 目的はAIツールの使い方を学び,PM業務に役立てる方法を考える
- 進め方は月にテーマに対して興味がある方が調査し月一回調査結果をミーティング（オンライン実施）で報告
- Cycle8は 生成系AIに使い方を中心に学習

- 学習スケジュール：
 - 9月 画像生成系AI
 - 10月 ChatGPT(code Interpreter)
 - 11月 PM業務に役立つAIツール使い方
 - 12月 PM業務に役立つAIツール使い方
(プロンプトエンジニアリング/)

2024年活動計画

- DeepLearning G検定 勉強会
- Python勉強会
- 最新AI動向調査
- E資格勉強会



2024計画（学習目的）

- AI Ready人材を目指すためにWG 3 のCycle9,10の以下の勉強会を予定しています
- 各勉強会の学習目的は下記の通りです。

| 勉強会のテーマ | 学習目的 |
|-----------------------|--|
| G検定勉強会 | <ul style="list-style-type: none">• AIの概要について学習しAIの議論に参加出来るレベルの知識習得を目指す• JDLA G検定取得 |
| Python勉強会 | <ul style="list-style-type: none">• Pythonのcode記述と機械学習アルゴリズムを学習しAIに対する理解を深める |
| 最新AI動向調査 (GPTS勉強会) | <ul style="list-style-type: none">• 最新AI Toolの使い方と原理を学び,最新のAI技術をPM業務に活用する方法を検討する |
| E資格勉強会 | <ul style="list-style-type: none">• AIに関して深い知識の習得することでPoCがリード出来ることを目指す• JDLA E資格取得 |

2024計画(想定しているレベル)

- 各勉強会で想定しているレベルは下記の通りです。
- AI初学者から、ある程度学ばれている方まで

| レベル | 概要 |
|-----|--|
| 1 | AIに関するプロジェクトについては本で知識を身につけた程度 |
| 2 | AIに関するプロジェクトの企画、計画、マネジメントについて議論が出来る |
| 3 | AIを利用したプロジェクトのサブPM、PMO、プロジェクトサポートなどが出来そう |
| 4 | AIを利用したプロジェクトのマネジメントのイメージがつく、PoCがリード出来そう |
| 5 | AIを利用したプロジェクトのPMが出来る/PMを引き受ける気持ちになれる |



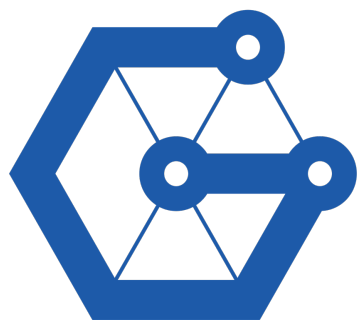
| 項目 | レベル1 | レベル2 | レベル3 | レベル4 | レベル5 |
|-----------|--|------|------|------|------|
| G検定勉強会 | [Progress bar from Level 1 to Level 2] | | | | |
| Python勉強会 | [Progress bar from Level 2 to Level 3] | | | | |
| 最新AI動向調査 | [Progress bar from Level 1 to Level 3] | | | | |
| E資格勉強会 | [Progress bar from Level 2 to Level 4] | | | | |

2024計画(学習方法)

- 各勉強会の学習方法は下記の通りです。

| 勉強会のテーマ | Cycle9 | Cycle10 |
|---------------------|----------------------------|-----------------------------|
| G検定 | チーム学習 G検定 2024/7/6,7 | チーム学習 G検定 2024/11/8,9 |
| Python | チーム学習 | チーム学習 |
| 最新AI動向 (GPTS勉強会) | グループワーク | グループワーク |
| E資格 | チーム学習 E資格 2024/8/30 | チーム学習 E資格 日程未定 |

- DeepLearning G検定の合格を目指す（7月、11月の試験対象）
- 希望者でチームを作り、月次ミーティング、必要に応じて個別ミーティングを実施
- 過去合格者が受験に関するノウハウなどを共有



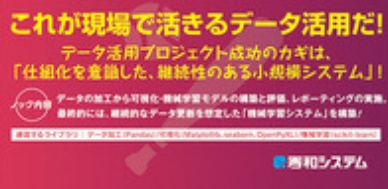
JDLA
Deep Learning for
GENERAL
2021 #2

- 日本ディープラーニング協会主催
- G検定
- AI For Everyone修了者は受験料の割引あり
- 合格者のみ参加できるコミュニティで情報交換、勉強会参加も可能

- 教材を通しAIのプログラミングで使用するPythonの記述と機械学習アルゴリズムを学ぶ
- 目的はPMとして「AIにおけるPython」をどこまで知るべきか探りを入れること
- 進め方は希望者でチームを作り月2回ミーティング実施（オンライン）

Python 実践 機械学習システム 100本ノック

下山輝彦・三木孝行・伊藤淳二 著

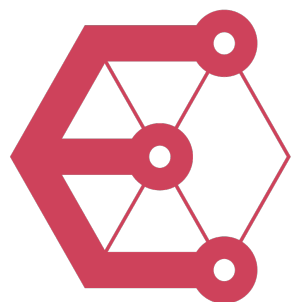


- 教材：
Python実践機械学習システム100本ノック
- 学習章とスケジュール：
 - 6章以降(1～5章は前Cycleで実施.)
 - スケジュールはメンバー内で調整。

- 最新AIツールの使用方法とその仕組みについて学習
- 目的はAIツールの使い方を学び,PM業務に役立てる方法を考える
- 生成系AIが広く普及した際に直ぐに使いこなせる技量を身に着ける
- 希望者を確認し多ければ、Subテーマ毎に分割
- 進め方は月にテーマに対して興味がある方が調査し月一回調査結果をミーティング（オンライン実施）で報告

- Subテーマ(案)：メンバー内で決定。
(あくまで例です)
 - 生成系A.I(GPTS等)を使ったpm業務の改善。
 - 最新A.I Toolを広く調査こと及び使い方を学ぶ。

- DeepLearning E資格の合格を目指す（8月、2月の試験対象）
- 希望者でチームを作り、メンバー間で個別の学習進捗度を共有することでJDLA認定プログラムの完走、E資格の合格を目指す
- 過去の合格者が学習のペースをフォロー



JDLA
Deep Learning for
ENGINEER
2022 #1

- 日本ディープラーニング協会主催
- 合格者のみ参加できるコミュニティで情報交換、勉強会参加も可能
- E資格認定講座：（予定）
ラビット・チャレンジ(Study-AI社)

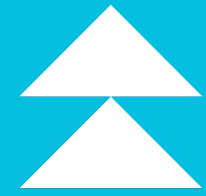
| 勉強会のテーマ | 目的 | 学習前のレベル | 学習後のレベル |
|-----------|---|---------|---------|
| G検定勉強会 | <ul style="list-style-type: none"> AIの概要について学習しAIの議論に参加出来るレベルの知識習得を目指す JDLA G検定取得 | 1 | 2 |
| Python勉強会 | <ul style="list-style-type: none"> Pythonのcode記述と機械学習アルゴリズムを学習しAIに対する理解を深める | 2 | 3 |
| 最新AI動向調査 | <ul style="list-style-type: none"> 最新AI Toolの使い方と原理を学び,最新のAI技術をPM業務に活用する方法を検討する | 1 | 3 |
| E資格勉強会 | <ul style="list-style-type: none"> AIに関して深い知識の習得することでPoCがリード出来ることを目指す JDLA E資格取得 | 2 | 4 |

毎週第四水曜日 19:00-21:00

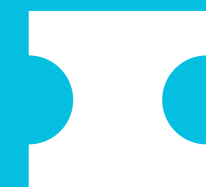
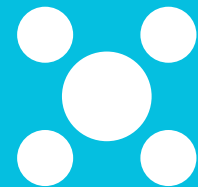
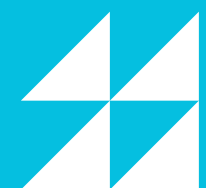
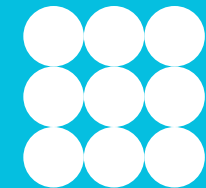
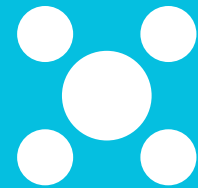
活動期間は2024年の1年間

Zoom、WebEx、Skype等を活用した
WEBミーティング

次回（初回） 2月28日（水）



THANK YOU



AI@WORK WG3
PMI Japan Chapter